

井田川幼稚園とみずほ台幼稚園との統合後の園舎について

1 市立幼稚園の園児数の推移及びこれまでの検討

市立幼稚園における園児数の推移は次の表のとおりであり、各園とも、令和2年度と比較すると全ての園において園児数が著しく減少しており、全体の園児数を令和2年度と令和7年度で比較すると約55%減少している。

各年5月1日時点<単位:人>

全体	R2	R3	R4	R5	R6	R7
亀山幼稚園	56	43	35	32	23	22
亀山東幼稚園	55	53	56	59	53	36
井田川幼稚園	70	59	55	46	38	31
みずほ台幼稚園	42	33	35	22	17	10
計	223	188	181	159	131	99

令和6年度において、幼稚園の園児数の減少への対応を検討した結果、井田川幼稚園とみずほ台幼稚園の令和9年度の統合に向け、令和6年度の時点で利用児童数の少なかったみずほ台幼稚園の令和8年度からの園児募集を停止することとした。また、園活動については、井田川幼稚園とみずほ台幼稚園との合同保育を拡充し、就学前教育の充実を図ることとした。

2 井田川幼稚園とみずほ台幼稚園との統合に向けての取組

井田川幼稚園とみずほ台幼稚園との統合に向け拡充して実施する合同保育について、実績のある津市へのベンチマーキングを行った。また、両園の職員及び関係部署との協議を行い、令和7年度は2期間に分けて合同保育を実施することとした。

具体的には、令和7年10月4日(土)に井田川幼稚園で両園合同の運動会を開催するに当たり、同年9月4日(木)から、井田川幼稚園で合同保育を実施する。また、令和7年12月11日(木)の合同保育参観の実施に向けて、同年11月4日(火)から、みずほ台幼稚園において合同保育を実施することとした。

3 統合後の園舎の決定に向けた検討

井田川幼稚園とみずほ台幼稚園との統合後の園舎については、次の観点から検討した。

- ①地域要件:施設周辺の状況及び小学校、地域との連携・交流が図れる立地について
- ②施設関係:施設の状態、設備の整備状況等、児童・職員が快適に過ごせる環境の確保について
- ③利便性:園児の送迎、駐車スペースの確保等、保護者の利便性が確保できる立地について
- ④将来性:今後の施設利用の可能性について

4 統合後の園舎について

就学前教育・保育施設の整備については、第3期亀山市子ども・子育て支援事業計画において認定こども園化を基本とした施設整備に取り組むこととしている。このことから、3の観点のうち、特に④将来性を重視し、立地条件から将来的に子どもを中心とした連携体制の充実に向けた施設整備の検討が可能であり、これまでの就園状況から保護者ニーズが高いと判断できる井田川幼稚園を統合後の園舎とする。